

登録コード	A3594328		開講年度	2026			
授業科目	専攻研究					担当教員	生井 楓
英文授業名	Thesis Research						下里 剛士
単位数	2	講義期間	後期（随時）	曜日・時限	集中・不定期		対象学生
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー 該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2 0 2 2 Aカリ，2 0 2 1 Aカリ，2 0 2 0 Aカリ，2 0 1 9 Aカリ						
	【2022年度以前加付対象】専門的な知識や研究能力を修得している				動物微生物の研究に関する研究課題（基礎）に取り組み、最新の学術情報を踏まえた実験技術を修得している		
	【2022年度以前加付対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している				動物微生物の研究に関する研究課題（基礎）に取り組み、最新の学術情報を踏まえた実験技術を修得している		
	2 0 2 6 A3 編（24A），2 0 2 5 A3 編（23A），2 0 2 4 Aカリ，2 0 2 3 Aカリ						
	【2024年度以前加付対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。				動物微生物の研究に関する研究課題（基礎）に取り組み、最新の学術情報を踏まえた実験技術を修得している		
	【2024年度以前加付対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。				動物微生物の研究に関する研究課題（基礎）に取り組み、最新の学術情報を踏まえた実験技術を修得している		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	研究室への配属が決定次第、教員との面談により専攻研究課題を決定し、具体的な研究内容について打ち合わせを行う。本授業では、専攻研究の遂行上、必要とされる実験技術の手艺習得を行い、その上で定期的に実験ノートの確認、研究進捗状況の確認と次週の研究計画についてディスカッションを行う。						
(5)授業計画	10月：研究課題の決定 10月～03月：基礎的事項の修得 基礎となる実験技術の修得；以下簡単に列挙します。 ○細胞培養実験（無菌操作手艺・培地調製・継代方法など） ○遺伝子実験（PCR法,定量的PCR法,遺伝子クローニング,シーケンス解析など） ○タンパク実験（SDS-PAGE,ウェスタンブロッティング,タンパク精製など） ○微生物実験（組み換え微生物の作成,リコンビナントタンパク質発現実験など） ○実験用マウスの飼育・管理・動物実験手艺（経口・腹腔投与,採血法,体重測定など）						
(6)自主学習の指針	日々、自身の研究テーマに関連する文献の検索を行うこと。						
(7)成績評価の基準	専攻研究課題の内容を他者に説明ができるようになり、課題の解決に関わる研究の実行とデータの取得を合格（可C）基準とします。さらに、研究課題の歴史的背景と応用展開までを他者に説明できるようになり、加えて研究成果のレベルを以下の基準に照らし合わせて成績評価を行います。 秀S:授業の達成目標の水準から見て卓越している 優A:授業の達成目標の水準よりかなり上にある 良B:授業の達成目標の水準よりやや上にある 可C:授業の達成目標の水準にある 不可D:授業の達成目標の水準よりやや下にある、またはかなり下にある						
(8)事前事後学習の内容	自身の専攻研究課題に関わる最新の原著論文を検索し、常に情報収集を行う。また、過去の研究成果を基礎として、課題の解決に向けた道筋を企画・立案し、指導教員と議論する。						
(9)テストやレポートの予定	なし						
(10)成績評価の方法	日々の研究姿勢、提出された専攻研究論文と専攻研究論文発表会の内容を点数化し、5段階評価する。						
(11)質問、相談への対応および連絡先	担当教員に直接質問して下さい。emailでの問い合わせも受け付けます。						
(12)履修上の注意	自身の積極的な行動力のもとより、研究室スタッフとの深い連携が研究遂行には必須となる。コミュニケーション能力の醸成も目標のひとつである。						
【教科書】	なし						
【参考書】	なし						